

各常任委員会における審査の状況

文教民生常任委員会

11日の委員会では、平成28年度から公立幼稚園6園で3歳児保育を実施するための施設改修などに要する補正予算や、子ども医療費の通院助成の対象者を中学校3年生まで引き上げる条例などの議案を審査し、満場一致で可決しました。

その後、市民病院の独立行政法人化への検討結果について、報告を受けました。

また、次の項目について質問を行いました。

- 障害者の自立支援
- 病児保育事業
- 義務教育修了者の夜間中学への再入学
- 学校給食での食物アレルギー対応

事業常任委員会

14日の委員会では、競輪場の再整備にかかる基本構想策定などに要する補正予算(議案第89号)や、労働会館を廃止する条例などの議案を審査しました。議案第89号については、賛成多数で原案を可決しました。その他の議案については、満場一致で可決しました。

また、次の項目について質問を行いました。

- 日影規制の緩和
- 岸和田検定(マイスター)
- 清掃工場の自己搬入時間の緩和
- 地域スマホモバイル事業
- 世界かんがい施設遺産登録
- ホテル誘致条例

総務常任委員会

15日の委員会では、18歳選挙権制度導入に伴うシステム改修のための補正予算や、マイナンバー法に基づく個人情報提供できる範囲について定める条例(議案第80号)などの議案を審査しました。議案第80号については、賛成多数で原案を可決しました。その他の議案については、満場一致で可決しました。

また、次の項目について質問を行いました。

- DV被害の相談
- 債務負担行為の考え方
- 公共工事の入札制度
- オリジナル年賀状の販売とそれらを活用したシテイセールス

議員研修会に参加

昨年11月25日、大阪府市議会議長会主催の議員研修会に参加しました。今回は、元ラグビー日本代表監督の平尾誠二氏を講師に、「気づかせて育てる」をテーマに開催されました。

個の力を高めるために必要なものとは何か、また個々の力を生かすためにどのようなリーダーシップが求められるのか、などについて、講義を受けました。



岸和田イメージアップ戦略を

井舎 英生 議員

【問】イレブンスリー暴走が全国放送され、「お城とだんじりのまち岸和田」がイメージダウンした。これを機に、「子ども・教育のまち」や「スポーツのまち」などの岸和田イメージアップ戦略を策定してはどうか。

【答】本市の魅力在市内外に余すところなく発信し、市そのものをブランド化することに取り組みたい。

また、迷惑行為については、決して許さないという決意のもと、関係機関と協力し対処していく。

【問】2年以内に小・中学校にエアコンや洋式トイレを設置し、教育環境を整えるべきと考えるがどうか。

【答】現在スクールサポートなど配置し、教員の負担軽減に努めているが、学校現場で法的な助言をもたえらえるスクールロイヤーの配置も検討している。

市政への関心を高め

一般質問

反甫 旭 議員

【問】市政の情報をわかりやすく市民に発信する必要がある。

市民向けにわかりやすい政策パンフレットを作成したり、タウンミーティングを開催すべきと考えるがどうか。

【答】現在はまちづくりビジョンの経営計画により、全ての事務事業の概要や当初予算などの情報をホームページで公開している。今後、目を通してもらえるよう、わかりやすい経営計画の概要版を作成したい。

また、市民とともにまちづくりを進めていくことが、岸和田の魅力高めると考えており、丁寧な情報発信、

利用者の多い駅 整備の見直しは

一般質問

松本 妙子 議員

【問】久米田駅はいまだに改札が東側1カ所のみであり、朝のラッシュ時は大変混み合い、とりわけ久米田北一番踏切では人の往来も多く、危険な状況である。安全性の確保が喫緊の課題だが、その対応について考えを聞きたい。

【答】当該踏切は、府道春木大町線にあり、大阪府の所管となる。府によると、抜本的な対策は必要だが、現時点では道路の立体交差化や鉄道の高架化などの計画はないとのことである。

しかし、現状は踏切で待つ歩行者などが車道にあふれており、本市としても府へ働きかけるとともに、具体的安全対策などを検討する。

一般質問

グローバル教育で

一般質問

南 加代子 議員

【問】小学校での外国語活動補助員の活用は有効だが、中学校のALT(外国語指導助手)も派遣できないか。

また、外国人と国内で交流する場として、「英語村」や「イングリッシュキャンプ」を開催してはどうか。

【答】ALTは週に1度校区内の小学校へも出向いている。来年度は増員し、小学校への派遣も増やす予定である。また、英語村などについては、平成32年度からの英語の教科化に向けた議論の中で検討する。

【問】選挙権年齢が18歳以上へと引き下げられるが、高校の前段階にある小・中学校で、選挙についてどの

創造力の向上を

南 加代子 議員

ように教育するのか。

【答】政治の仕組みは児童会や生徒会役員の選挙の際指導しており、授業以外にも知る機会を設けている。

なお、指導にあたつては、政治への関心を育てるだけでなく、自ら見出した課題に対する考えを持ち、表明していくとともに、意見を交わしながら解決する姿勢を養うことが重要と考える。

【問】不妊・不育治療に対して市独自の医療費の助成はできないか。

【答】市単独での助成は難しい。国へ助成制度を確立するよう要望するとともに、国の動向も注視しながら、調査・研究していく。